

C 川和の歴史の散策コース

歩行距離 約 7.0 ㎞。 11,600 歩 2 時 40 分 (但し、ポイント毎に 10 分の休憩見込む)

川和は明治時代には都筑郡役所が置かれたほどの、中心であった歴史に触れて見られる散策コースです。

都筑ふれあいの丘駅→1500→川和富士公園→600→天宗寺→350→八幡神社→450→瑞雲寺→70→川和駅→580→妙蓮寺→600→貝の坂旧街道→800→杉山神社/無量寺→600→江川せせらぎ緑道→950→鶴見川サイクリングロード→450→鴨居駅



ふれあいの丘駅を出て、左側にあるOKストアの脇の道を北西に進むと区役所通りを跨ぐ千人橋に出ます。ここから大丸地区に入ります。桜並木に囲まれた藤和ライフタウンの団地に入り、しばらく進むと緑道が左右に分かれます。右に行けば牛ヶ谷公園や鴨池公園に至ります。今回は左に曲がり、道なりに進むと広い通りを跨ぐ朝霧橋に出ます。これを渡って木陰橋を潜ると正面にかりん公園が現れます。左に曲がり夕焼け橋で区役所通りを渡ると目の前に川和富士公園に出ます



ふれあいの丘の素晴らしい緑道の桜並木



低層のマンションが雑木林の中に点在

川和富士公園

現在の夕焼け橋の近くに、万延元年（1860年）から27年をかけて明治20年（1887年）に完成した富士塚がありましたが、港北ニュータウン事業で現在地に再築されました。晴れた日には富士山、ベイブリッジ、ランドマークタワー、さらに東京都庁と360度の展望が楽しめます。



緑道を跨ぐ木陰橋



川和富士公園は工事中（2013.3.1）

公園の反対側に出て直進、そして右折すると又区役所通りに出ます。富士見が丘西側バス停を見て道を渡り直進。T字路を左折すると右手に天宗寺があります。更に道なりに進み200m弱で左に曲がれば八幡神社に出ます。その参道は桜の古木が並び境内にも沢山の桜があります。日露戦役の記念碑もあります。そこより横浜上麻生線に出ず、参道を直進して川和町に入りグリーンラインに沿って右折すれば、素晴らしく手入れの行き届いた瑞雲寺に着きます。

八幡神社

貞観17年（875）武蔵国正六位河和神に従五位を授けられたと言われており、川和町の氏神として祀られています。長い参道の桜の老木、境内の100本近い桜は見事で、広い境内には川和富士公園の移転時に浅間大神が合祀されました。



天宗寺の六地藏と枝垂れ梅



桜並木の参道が続く八幡神社

寺を出て通りの信号を渡って直進すれば鶴見川のサイクリングロードに出ます。手前を右に曲がると川和の宿町と言われ、天王社もありますが現在は見るべきものはないようです。

グリーンラインを潜って反対側に出ると川和公会堂があります。反対の山側に入りC-3、C-4の道標を探しながら進むと可愛い山王社が現れ、その先に妙蓮寺が見えてきます。

瑞雲寺

簡素で落ち着いた禅宗らしい寺で「筆塚」「鷹薬師如来」が有名。徳川家康がこの地での鷹狩りのとき、寵愛していた鷹が戻らないのでこの薬師如来に祈願したところ、たちまち手元に戻った霊験に帰依して鷹薬師如来として祀っています。

川和の宿町

日野往還（中原街道と大山街道の接続道）に面し、谷本川沿いに約350mに及ぶ川和宿が営まれていたと言われています。



瑞雲寺の見事な見こしの松と山門



鐘楼とサルスベリ



妙蓮寺

区内唯一の日蓮宗寺院、日蓮の孫弟子・朗慶が開山して660年余になる名刹。元文年間（1736年頃）全てが焼失しましたが、現本堂は寛政5年（1793）に再建されました。境内には古木が多く、春の桜、秋のイチョウの黄葉は見事です。裏山から富士・丹沢が良く見えます。



妙蓮寺 区内唯一の日蓮宗寺院



鐘楼の前に箒を持ったお地蔵さんが

妙蓮寺の裏手に回りこんで石段を登っていくと、墓地に囲まれて「熊井太郎忠基」の碑があります。この高台は川和城址でもあり南西に向かって開け、一望千里といった風景が見渡せます。この階段は急で、健常者にもつらいほどです。無理に登らないで下さい。これより又バス通りに出て、川和台団地下のバス停でC-6の道標を確認し、120mほど先のC-7の道標から竹藪の道に入ります。ここが「貝の坂旧街道」です。

貝の坂旧街道

中原街道と大山街道に挟まれた日野往還に河和行政府が置かれ、明治29年（1896）貝の坂が改修されるまでは能見堂から中山恒三郎、旧中山浩二郎邸の前に出る約200mの山越え道でした。佐江戸側には峠の茶屋もあったと伝えられ、字名にも名残があり、またその井戸の後も残っています。



鶴見川を見下ろす高台の杉山神社



無縁仏の墓石をまとめて祀っている無量寺

120mほどでバス通りに戻り貝の坂バス停を左折、石橋の交差点に向かいます。右に坂を登ったところの左側から杉山神社に入ります。脇から入ることになりますが、正面の階段を下ると鳥居があります。その左手に無量寺があります。境内には無縁仏となった墓石が一箇所に集められ、祀られています。神社前のバス停を見て600mほど直進すると緑産業道路に出ます。地藏尊前の信号を渡り、そこを真っ直ぐ行けば直ぐに江川せせらぎ緑道に出ます。都筑水再生センターで処理された水が、このせせらぎを流れ、下流の川向こう下水ポンプ場まで流れて鶴見川へと合流します。せせらぎに沿って650mほど進むと出崎橋の交差点に出ます。ここから流れは暗渠となり、梅田橋の先の根岸付近で又その姿を現します。

佐江戸公園

鶴見川サイクリングロード脇にあり、江川せせらぎ緑道からも近く、園内にはメタセコイア、ポプラが緑陰を作り、春には桜がきれいです。子供の遊具設備も整っています。



都筑水再生センターから続くせせらぎ緑道にはコイやオイカワやドジョウも生息しています



3月に入り河原には水仙も咲き出します



河原で遊ぶ親子も嬉しそうです